

一般社団法人全国住宅技術品質協会

第9回全国大会

～ 住宅のさらなる安全・安心を目指して ～



一般社団法人
全国住宅技術品質協会



一般社団法人

全国住宅技術品質協会

住宅のさらなる安全・安心を目指して。

第9回

全国大会

2024年9月18日 14:00～
KABUTO ONEにて

会員数推移

自：2023年 7月 1日 ～ 至：2024年 6月30日

会員種別	2022年度末	2024年度末	2024年度 入退会の状況		
	2023. 6. 30時点		入 会	退 会	増 減
一般会員	394社	385社	15社	24社	▲9社
協賛会員	5社	5社	—	—	—
特別会員	3社	3社	—	—	—
総 計	402社	393社	15社	24社	▲9社



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度事業活動振り返り

地盤調査・補強工事共同	補強工事委員会
◆ 資格試験、資格更新講座 ◆ 職長・安全衛生責任者教育 ◆ 業界紹介漫画 ◆ 地盤技術品質研修会 ◆ 地形・地質体験学習会	◆ 「審査省略制度(4号特例)」の縮小に係るセミナー ◆ 擁壁に関する地盤改良の設計と責任 ◆ 安全・安心のための現場づくりの手引き
地盤調査委員会	建物検査委員会
◆ 動画コンテンツ作成 ◆ 新人教育法研修会 ◆ ジオカルテ整備研修会 ◆ 地盤調査方法勉強会資料作成 ◆ 地盤調査標準書外国語翻訳 および外国人資格制度導入検討	◆ 建物検査技術品質研修会 ◆ 建物検査マニュアルシステム構築 ◆ 啓発活動 ◆ 建物検査技術者マナー教育講習
	全委員会共通
	◆ 法律・労務関連相談サービス

2023年度事業活動の詳細については各委員会より報告します。



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度事業活動計画

各委員会の2023年度重点活動の結果概要	
全委員会共通	【事業】 社会労務士相談 【目的】 社労士へ無償相談により、労働条件改善へのサポートを目的とする 【結果】 ワンポイント通信の定期配信
調査・工事共同	【事業】 地盤技術品質研修会 【目的】 現場での技術・品質・マナーの向上を目的とする 【結果】 『住宅地盤での作業の安全について』オンライン研修会開催
地盤調査委員会	【事業】 動画コンテンツ作成 【目的】 地形地質・室内土質試験などの基礎知識資料となる動画を作成 【結果】 『標準貫入試験』、『粒度試験』等の動画4コンテンツ完成、HP公開
補強工事委員会	【事業】 「審査省略制度」(4号特例)の縮小に係るセミナー 【目的】 法施行後のトラブル・クレームを未然防止を図ることを目的とする 【結果】 東京・大阪2会場にて菅谷弁護士によるセミナー開催
建物検査委員会	【事業】 建物検査技術品質研修会 【目的】 検査技術者技術・品質接遇向上を目的とする 【結果】 『雨漏りを防ぐためのチェックポイント』動画配信による研修実施



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度収支実績及び2024年度事業予算

2023年度 収支実績		2024年度 事業予算	
自:2023年7月1日 至:2024年 6月30日		自:2024年7月1日 至:2025年 6月30日	
95,525,712円		96,697,663円	
【収入の部】	【支出の部】	【収入の部】	【支出の部】
会費等 48,823,783	管理運営 35,371,280	会費等 49,540,000	管理運営 34,150,000
事業売上 3,861,512	事業運営 18,346,769	事業売上 5,420,000	事業運営 27,990,000
2022年度繰越金 42,840,417	経常外費用 70,000	2023年度繰越金 41,737,663	2024年度繰越金 34,557,663
2023年度繰越金 41,737,663			



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

全国住宅技術品質協会の役割

全住品が住宅業界に果たす役割

品質及び技術の向上	リスク・対策情報の普及 (事前対策の啓発)
業界内の枠を超えた連携 によるシナジー効果の期待と ビジネスチャンス創出	産学官との連携による レジリエンス性の高い 住宅の実現

上記4項目が協会設立当初からの変わらぬ設立の目的となります。
この目的に合わせ各委員会の事業を計画立案しています。



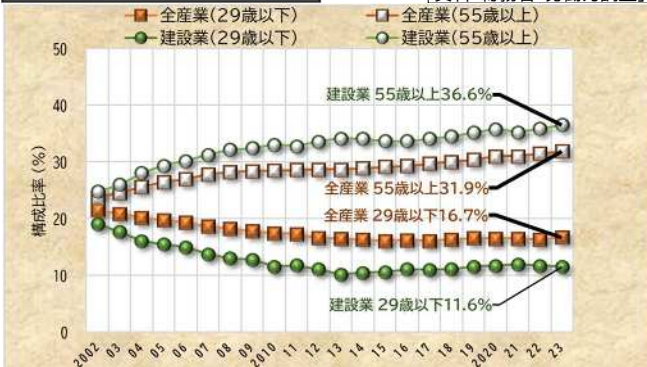
一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画(社会背景①)

作業員の人手不足・高齢化

就労者の年齢別構成比率の推移

資料:総務省「労働力調査」



《就労者の年齢別構成比率の推移》

55歳以上が 36.6% (全産業:31.9%)
29歳以下が 11.6% (全産業:16.7%)
全産業と比べ、高齢化の傾向が顕著

年齢階級別就業者数

資料:総務省「労働力調査」



《年齢階級別就業者数》

25歳～34歳が 64万人
45歳～54歳が 134万人
技術継承、事業継承に大きな影響



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画(社会背景②)

外国人就労者の雇用と教育

外国人材の受入状況



資料:国土交通省「建設分野における外国人材の受入れ」

《外国人材の受け入れ》

建設分野 約11.6万人

《在留資格別》

技能実習生が最多 7.0万人

特定技能外国人 1.2万人

※水際措置の緩和や制度周知により増加中

《在留資格の目的》

- ◆技能実習：技能移転による国際貢献
- ◆特定技能：日本国内で人手不足が深刻とされている特定産業分野の労働力確保

人手不足を補う貴重な人材！

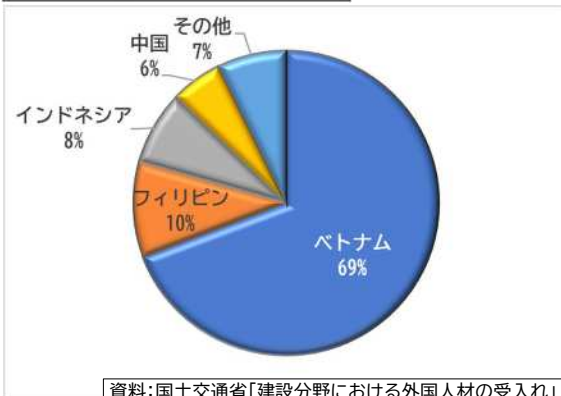


一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画(社会背景②)

外国人就労者の雇用と教育

2022年 外国人材の国別受入状況



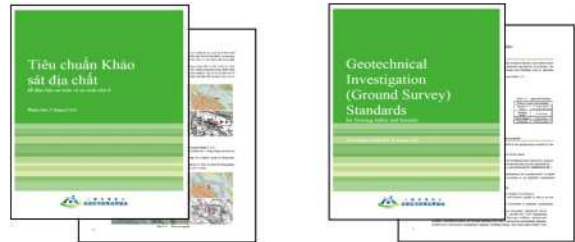
資料:国土交通省「建設分野における外国人材の受入れ」

ベトナム	フィリピン	インドネシア	中国	カンボジア
8,849人	1,293人	1,003人	701人	328人
ミャンマー	タイ	ネパール	その他	合計
238人	136人	74人	154人	12,776人

しっかり教育をして、現場で働いてもらいたい
しかし・・・

『言葉の壁』により、教育が難しい
社内教育資料の翻訳は困難 等の課題が

書籍類の翻訳・資格制度の検討



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画(社会背景③)

能登半島地震と液状化被害

能登半島地震

発生日時:2024年1月1日16時10分

震源:石川県能登半島

地震規模:M7.6

最大震度:7

石川県羽咋市の被害状況

深 度:5強(※推定深度6弱)

住宅被害:3,377棟(全世帯数の約4割)

全壊 65棟

半壊 520棟

準半壊 1,077棟

一部損壊 1,715棟



液状化被害(主な5つのエリア)



液状化現象による住宅被害が目立つ

資料:羽咋市「羽咋市の被害状況」



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画

地盤調査・補強工事共同	補強工事委員会
◆ 資格試験、資格更新講座 ◆ 職長・安全衛生責任者教育 ◆ 現場マナー集翻訳 ◆ 地形・地質体験学習会 ◆ 石川県羽咋市 復興支援	◆ 「審査省略制度」の縮小に係るセミナー ◆ 地盤補強工事における トラブルクレームの傾向と事例展開 ◆ 沈下修正の流れ ◆ 地盤技術品質研修会 ～ 安全・安心のための現場づくりの手引き ～
地盤調査委員会	建物検査委員会
◆ 動画コンテンツ作成 ◆ キャリアアップ研修会 ◆ ジオカルテ整備研修会 ◆ 地盤調査方法勉強会資料作成 ◆ 地盤技術品質研修会 ～ 地盤調査法体験学習会 ～	◆ 建物検査技術品質研修会 ◆ 建物検査マニュアルシステム構築 ◆ 建物検査技術者マナー教育講習
	全委員会共通
	◆ 法律・労務関連相談サービス

2024年度事業活動計画の詳細については各委員会より報告します。



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業活動計画

各委員会の2024年度重点活動概要	
全委員会共通	【事業】 法律・労務関連相談サービス 【目的】 弁護士・社労士へ無償相談により解決・解消を図ることを目的とする
調査・工事共同	【事業】 石川県羽咋市 復興支援 【目的】 能登半島地震での液状化対応について復興に向けた支援を目的とする
地盤調査委員会	【事業】 地盤調査法体験学習会《地盤技術品質研修会》 【目的】 体験学習による調査員の育成を目的とする
補強工事委員会	【事業】 安全・安心のための現場づくりの手引き《地盤技術品質研修会》 【目的】 事故・トラブルのない安全な現場づくりにつなげることを目的とする
建物検査委員会	【事業】 建物検査技術者マナー教育講習 【目的】 建築技術や一般的マナー等を兼ね備えた検査員であることを可視化し、会員のモチベーション向上につなげることを目的とする
測量委員会	※委員会活動休止



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

全委員会共通

2023年度 事業進捗報告

2024年度 事業活動計画



一般社団法人
全国住宅技術品質協会

一般社団法人全国住宅技術品質協会
理事長 西村 祥久

2023年度 事業活動報告

2023年度事業活動は以下のとおりです。

 印の事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	実績	備考
	1 法律相談	法律相談、セミナー	法律相談：1件 リーガルReport配信	菅谷弁護士
	2 社会労務士相談	労務関連相談、セミナー	社会労務士相談：0件 ワンポイント通信配信	櫻井社労士
3	書籍の販売	標準書等販促品、 販売原価費用	—	各種販促品(有償)
4	販促品配布費用	新規加盟ツール 研修時の配布物等	—	各種販促品(無償)
5	その他臨時セミナー開催費	オンラインセミナー 等	実施なし	
6	HP運営(更新・改修)	HP更新・改廃	会員専用ページの改修 お知らせ等の公開	
7	ニュースリリース配信	全住品の取り組みの 外部配信	配信無し	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

1. 法律相談、2. 社会労務士相談

【事業の目的】

会員企業が抱える法的な問題や労務に関する問題に対し、当協会で契約する顧問弁護士、顧問社会労務士への無償相談により解決・解消を図ることを目的とする。

【事業実績】

◆ 法律相談 実績 1件

建築弁護士が教えるリーガルReport
地盤事故の判例解説1

～2つの事例で学ぶ裁判リスク～

◆ 社会労務士相談 実績 0件

社労士が伝えるワンポイント通信
時間労働上限規制への対応

～ 時間外労働へのステップ⑤～⑧ ～



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2024年度事業計画/予算(案)は以下のとおりです。

	活動テーマ	内容	事業予算	備考
①	法律相談	法律相談、セミナー	926,000円	菅谷弁護士
②	社会労務士相談	労務関連相談、セミナー	1,020,000円	櫻井社労士
3	書籍の販売	標準書等販促品、販売原価費用	1,195,000円	各種販促品(有償)
4	販促品配布費用	新規加盟ツール 研修時の配布物等	190,000円	各種販促品(無償)
5	その他臨時セミナー開催費	オンラインセミナー 等	550,000円	
6	HP運営(更新・改修)	HP更新・改廃	500,000円	
7	ニュースリリース配信	全住品の取り組みの 外部配信	360,000円	
計			4,741,000円	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

1. 法律相談、2. 社会労務士相談

【事業の目的】

会員企業が抱える法的な問題や労務に関する問題に対し、当協会で契約する顧問弁護士、顧問社会労務士への無償相談により解決・解消を図ることを目的とする。

【事業の概要】

- 各種相談サービス(法律/労務関連)は、随時受付
- 各種相談サービス利用向上を目的に旬な話題提供として「リーガルレポート」、「ワンポイント通信」の定期配信
- オンラインセミナーの企画

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
各種相談サービス	→											
リーガルレポート				～ 定期配信 ～								
ワンポイント通信												



一般社団法人 全国住宅技術品質協会



一般社団法人
全国住宅技術品質協会

地盤調査・補強工事委員会共同 2023年度 事業活動報告 2024年度 事業活動計画



補強工事委員会
副委員長 西川 健二

2023年度 事業活動計画

2023年度事業活動は以下のとおりです。

 印の事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	実績	備考
①	新規資格試験	会場型CBT試験	4月～5月実施	3部門4資格
②	資格試験対策講座	Web講座	4月～5月実施	
3	資格更新講座	Web講座	4月～5月実施	
④	職長教育	会員企業向け職長教育	6月12・13日(大阪)	
5	業界紹介漫画	業界への理解を深めるための人材採用コンテンツ	各社配布済み	
⑥	地盤技術品質研修会	品質・マナー向上に向けた研修会	5月22日オンライン開催	安全手帳ベース
⑦	地形地質体験学習会	国内ジオパーク視察	6月1・2日 27名参加	伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク

2023年度 事業活動報告

1. 新規資格試験

【事業の目的】

全住品が認定する資格者が業務に従事することで、お客様に信頼頂ける地盤調査・補強工事を提供することを目的とする。



【事業の実績】

《受験期間》 2024年4月1日(月)～2024年5月31日(金) (会場型CBT方式)

《試験結果》

資格名称	受験者数	合格者数	合格率
宅地地盤調査主任	75名	57名	57.3%
地盤補強設計主任技士	59名	29名	49.2%
地盤補強施工管理主任技士	38名	21名	55.3%
地盤補強施工管理技士	25名	19名	76.0%



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

1. 新規資格試験

【合格率の推移】

年々、合格率が低下傾向

資格名称	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
宅地地盤調査主任	69.5%	74.3%	62.4%	67.0%	57.3%
地盤補強設計主任技士	-	74.1%	55.9%	60.4%	49.2%
地盤補強施工管理主任技士	-	83.3%	72.7%	60.8%	55.3%
地盤補強施工管理技士	-	89.2%	77.3%	85.7%	76.0%

開始当初の合格率
70～80%台

年々合格率が低下

2023年度の合格率
40～70%台

標準書の内容理解が
進んでいない

全住品では教育事業を展開

※地盤補強工事関連の資格につきましては特別会員の業務において必須化を検討中



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

2. 資格試験対策講座

【対策講座受講】

資格名称		受講者数	合格者数	合格率
宅地地盤 調査主任	受講者	40名	30名	75%
	未受講者	23名	7名	30%
地盤補強 設計主任技士	受講者	22名	15名	68%
	未受講者	14名	6名	43%
地盤補強 施工管理主任技士	受講者	20名	14名	70%
	未受講者	13名	5名	38%
地盤補強 施工管理技士	受講者	10名	10名	100%
	未受講者	9名	8名	89%

【対策の検討】

対策講座受講者と未受講者で合格率を比較した結果、受講者の方が合格率が高い

全員が受講できる環境を整えることで合格率の向上が目指せる

資格試験と対策講座をセットにすることで、全員が受講できる環境を提供する



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

4. 職長・安全衛生責任者教育

【事業の目的】

職長・安全衛生教育講習の受講機会を提供し、受講者が適切な安全衛生管理を行うために必要な知識と技術を習得することで、労働災害・事故等の撲滅や職場の安全と健康を確保し、快適な職場環境を形成することを目的とする。

【事業の実績】

《実施日時》 2024年6月12日(水)～13日(木) ≪2日間:計14時間≫

《内 容》 労働安全衛生法 第60条及び労働安全衛生規則第40条による教育

《受講者数》 8名(5社)

【受講者の声】

- ・ 職長の立場として現場の安全を徹底する意識を持つことが出来た。
- ・ グループ討議があることによって、より自身で考えることが出来て良かった。
- ・ 調査と工事従事者に対して一緒に講習が行われた為、互いに関連の低い内容があると感じた。



受講状況



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

6. 地盤技術品質研修会

【事業の目的】

地盤調査・補強工事の会員向け研修会を企画し、品質向上へ向けた活動を目的とする。

【事業の実績】

《実施日時》 2024年5月22日(水) 17:00 ～ 60分

《開催方法》 オンライン(Zoom)

《対 象》 会員および会員協力会社含む

《参加者数》 186名(81事業所)

- ◇ イラストが多くわかりやすい！
- ◇ 定期開催の要望が多い！

高評価！



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

7. 地形地質体験学習会

【事業の目的】

ジオパークでの地形地質の視察を中心に地域における形成段階を学んだり、国内で過去に発生した災害現場の視察を通し、防災への見地を広げ会員間の交流を深める事を目的とする。

【事業の実績】

《実施日時》 2024年6月1日(土) ～ 6月2日(日)

《開催場所》 伊豆半島ユネスコ世界ジオパーク
(静岡県 熱海市・伊東市)

《参加者数》 27名(理事・委員・事務局含む)

【参加者の声】

- ・ 地形の成り立ちや自然環境(火山・断層)の状況を現地で肌で感じられた非常に有意義な研修会でした。
- ・ 日常の風景から地形の成り立ちを考える想像力を養う事ができました。
- ・ ガイドさんの説明がとても分かりやすく良かったです。



丹奈断層公園



さくらの里



城ヶ崎海岸



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2024年度事業計画は以下のとおりです。

	活動テーマ	内容	事業予算	備考
①	新規資格試験	会場型CBT試験	2,566,000円	3部門4資格
②	資格試験対策講座	Web講座	144,000円	
③	資格更新講座	Web講座	987,000円	
④	職長・安全衛生責任者教育	会員企業向け職長教育	836,000円	
⑤	「現場マナー」翻訳	品質・マナー向上に向けた研修会	360,000円	
⑥	地形地質体験学習会	国内ジオパーク視察	1,500,000円	
⑦	羽咋市液状化対応	能登半島地震復興協力	500,000円	
	委員会活動費	委員会、事業小委員会 等	104,000円	委員会 2回/年開催を計画
計			6,997,000円	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

1. 新規資格試験

【事業の目的】

全住品が認定する資格者が業務に従事することで、お客様に信頼頂ける地盤調査・補強工事を提供することを目的とする。

【事業の概要】

《試験日程》 2025年4月初旬～5月末(予定)

《試験方法》 CBT試験



【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
試験問題の作成		●	→	→	→	→	→					
試験案内・受付				●	→	→						
試験										●	→	→



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2. 資格試験対策講座

【事業の目的】

資格取得者の知識・技術レベルの維持・向上を図り、お客様に信頼頂ける地盤調査・補強工事を継続して提供することを目的とする。

【事業の概要】

《受講日程》 2025年4月初旬～5月末(予定)

《受講方法》 eラーニング

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
コンテンツ修正		●	→	→	→	→	→					
試験案内・受付				●	→	→						
対策講座公開										●	→	→



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

3. 資格更新講座

【事業の目的】

現場従事者の資格更新にあたり、地盤に関する基礎知識の再確認や関連する技術指針等の最新情報習得等を目的とする。

【事業の概要】

《受講日程》 2025年4月初旬～5月末(予定)

《受講方法》 e-ラーニング

《受講者数》 宅地地盤調査主任 320名程度を想定（地盤補強系資格の更新無し）

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
コンテンツ修正		●	→	→	→							
受講案内・受付				●	→	→						
対策講座公開										●	→	→



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

4. 職長・安全衛生責任者教育

【事業の目的】

職長・安全衛生教育講習の受講機会を提供し、受講者が適切な安全衛生管理を行うために必要な知識と技術を習得することで、労働災害・事故等の撲滅や職場の安全と健康を確保し、快適な職場環境を形成することを目的とする。

【事業の概要】

《内 容》労働安全衛生法 第60条及び労働安全衛生規則第40条による教育

《開催方法》全住品主催 1回(関東エリア)、個社対応:随時受付

※受講者には修了証を付与



【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
全住品主催							●	→				
個社実施受付			●	→	→	→	→	→	→	→	→	→



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

5. 「現場マナー」翻訳

【事業の目的】

建設業界では外国人就労者が増加しており、今後の業界内でも、必要不可欠な存在となる。現行で採用している各社でも教育には非常にコストと労力が必要となっていることから、教育者の負担軽減・品質確保を目的とする。

【事業の概要】

翻訳対象となる言語はベトナム語と英語

現状、業界内就労者数が最も多いベトナム人に対応する為
合わせて英語による翻訳を行い今後に備える



翻訳

Tiếng Việt
(ベトナム語)

English
(英語)

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
打合せ(翻訳会社)	●	→										
翻訳・確認・修正		●	→									
リリース						●						



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

6. 地形地質体験学習会

【事業の目的】

ジオパークでの地形地質の視察を中心に地域における形成段階を学んだり、国内で過去に発生した災害現場の視察を通し、防災への知見を広げ会員間の交流を深める事を目的とする。

【事業の概要】

《実施日程》 2025年4月～5月頃、1泊2日で計画

《候補地》 これから選定(日本ジオパークより選定予定)

《集合解散》 現地集合・現地解散(ジオパーク最寄りの空港・駅等)

《費用》 研修関係費用(ジオパーク入館料、現地ガイド、交流会費)は全住品負担

※宿泊費等の一部負担金が発生する場合があります。

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
候補地選定・打合せ		●	→	→	→	→	→					
開催							●	→	→	○?	○?	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

7. 羽咋市液状化対応

【事業の目的】

能登半島地震での液状化対応について羽咋市からの要請により、地域住民への対応を担い、復興へ向けた支援を目的とする。

【事業の概要】

- ・羽咋市役所産業建設部地域整備課との連携
- ・地元建設業組合との連携
- ・地域住民へ向けた液状化対策の提案および見積等
- ・会員会社への情報発信・協力要請



【スケジュール】 ※ スケジュールは羽咋市との協議により替わります

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
羽咋市・組合協議	●	→	→	→	→	→						
協力会社募集			●	→	→	→						
問合わせ対応						●	→	→	→	→	→	→



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

地盤調査委員会

2023年度 事業活動報告

2024年度 事業活動計画



地盤調査委員会
副委員長 初山 司

2023年度事業活動報告

2023年度事業活動は以下のとおりです。  印の事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	実績	備考
	動画コンテンツ作成(継続)	室内試験方法等に関する動画作成	標準貫入試験・粒度試験・一軸圧縮試験 等	4本作成
	新人教育法研修会(継続)	管理者・調査員向け教育方法の研修会	名古屋・福岡 2会場	計画通り
	ジオカルテ整備研修会(継続)	現従事者向け(3会場)場	東京・大阪・仙台 3会場	計画通り
	地盤調査方法勉強会	後工程を考えた理想の調査方法解説	3タイトル録画	全住品HP
	地盤調査標準書外国語翻訳 および外国人資格制度導入検討	標準書をベトナム語・英語 での多言語化対応	ベトナム語・英語完成	販売

2023年度 事業活動報告

1.動画コンテンツ作成(2022年度継続事業)

【事業の目的】

現場従事者向けに各種地盤調査法や室内試験の動画を作成し、実際の作業や各種試験に関する知識向上を図ることを目的とする。

【事業実績】

各種動画コンテンツを作成し、研修会・各社教育現場等で長期に活用

- ◇ 地盤調査法：標準貫入試験
- ◇ 物理試験：粒度試験
- ◇ 力学試験：一軸圧縮試験・圧密試験



【全住品HP】



2023年度 事業活動報告

2.新人教育法研修会(継続)

【事業の目的】

『宅地地盤調査員 教育の手引き』を活用した新人教育方法の確立、標準化に向け、管理者・調査員の育成をすることを目的とする。

【事業実績】

名古屋会場：2024年 2月 3日(土)
参加者数：7社 17名

福岡会場：2024年 2月 17日(土)
参加者数：6社 10名



名古屋会場

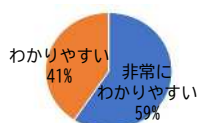


福岡会場



福岡会場

【受講者の声】



アンケート結果

非常にわかりやすい：59%
わかりやすい：41%
※ 5段階評価で好評価！！

- ・ 地域を絞って過去の地形を知る事が勉強になった。
- ・ 全体的に写真やイラストが多く見やすかった
- ・ 実際の道具を使った説明や実際にあった現場対応などをしれてわかりやすかった



2023年度 事業活動報告

3. ジオカルテ整備研修会

【事業の目的】

地盤調査業務で使用する調査機械(ジオカルテⅢ・Ⅳ)の性能維持や調査データ品質確保のために必要な正しい整備方法を習得することを目的とする。

【活動実績】

東京会場:2023年11月11日(土)・・・14社 26名

大阪会場:2023年11月18日(土)・・・10社 18名

仙台会場:2023年12月 2日(土)・・・6社 14名

ジオカルテ整備研修会まとめ

会場	参加社数	参加人数	アンケート総合評価						合計
			非常に満足	満足	普通	不満	非常に不満		
東京会場	14 社	26 名	11	13	2	0	0		26
大阪会場	10 社	18 名	8	10	0	0	0		18
仙台会場	6 社	14 名	9	4	1	0	0		14
合計	30 社	58 名	28	27	3	0	0		58

満足度高く
高評価！

今期予定
広島エリア
北海道エリア



東京会場



大阪会場



仙台会場



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

4. 地盤調査方法勉強会

【事業の目的】

後工程における地盤調査データ、資料の利用方法を理解し、地盤調査の目的を再認識することで、調査精度・品質の向上を図るとともに、後工程を意識した調査員を育成することを目的とする。

【事業実績】

- ◇ 地盤データ採取時の注意点
- ◇ 調査写真の撮り方
- ◇ 調査測点位置



いつでも教えたいたいタイミング
でご利用いただけます！



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

5. 地盤調査標準書外国語翻訳および外国人資格制度導入検討

【事業の目的】

建設業界では外国人就労者が増加しており、今後の地盤調査でも、必要不可欠な存在となる。現行で採用している各社でも教育には非常にコストと労力が必要となっている事から教育者の負担軽減・品質確保を目的とする。

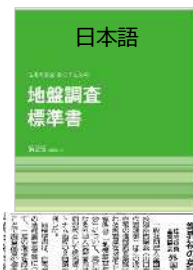
【事業実績】

翻訳言語：ベトナム語・英語の2言語追加

販売価格：1,100円(税込)

※ 送料は全住品で負担

販売方法：事務局へ申込(簡易製本)



外国人資格制度については先期で標準書・今期でマナー翻訳が完成する予定であるため2025年度を目処に資格試験制度の検討を進める。



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2024年度事業計画は以下のとおりです。

	活動テーマ	内容	事業予算	備考
①	動画コンテンツ作成(継続)	ラム・手回し	3,130,000円	
②	キャリアアップ研修会(名称変更) 旧:新人教育法研修会(継続)	管理者・営業・調査員 対象を広げた教育研修会	1,060,000円	仙台・他1
③	ジオカルテ整備研修会(継続)	現従事者向け(2会場)	1,540,000円	北海道・広島
④	地盤調査方法勉強会資料作成	後工程を考えた理想の調査方法解説	360,000円	HPへ
⑤	地盤技術品質研修会 (地盤調査法体験学習会)	SWSの基礎知識と土質判別体験学習	1,020,000円	名古屋
	委員会活動費	委員会、事業小委員会 等	1,800,000円	委員会 12回/年開催を計画
計			8,910,000円	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

1.動画コンテンツ作成(継続)

【事業目的】

現場従事者向けに、各種地盤調査法や室内試験の動画を作成し、実際の作業や各種試験に関する知識向上を図ることを目的とする。

【事業概要】

各種動画コンテンツを作成し、研修会等で長期に活用

◇ 地盤調査法：ラムサウンディング・SWS手回し
今期は上記2本について撮影予定



【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
下地資料作成・撮影		●	→									
編集およびイラスト化					●	→						
HP作成(コンテンツUP用)										●	→	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2.キャリアアップ研修会

【事業目的】

『宅地地盤調査員 教育の手引き』を活用し、管理者・調査員・営業まで幅広く育成することを目的とする。

【事業概要】

昨年度実施の新人教育法研修会をベースに教育範囲を拡大しエリア毎・実例を取り入れた研修会を実施(営業マンを参加させたかったとのお声が多く聞かれた)

◇ 集合型研修会(仙台)
◇ 個社研修会 ※事務局へお声がけください。

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
会場予約(予定決め)		●	→									
案内作成・配信			●	→								
研修会実施						●	●					



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

3.ジオカルテ整備研修会(継続)

【事業目的】

地盤調査業務で使用する調査機械(ジオカルテⅢ・Ⅳ)の性能維持や調査データ品質確保のため、正しい整備方法の習得を目的とする。

【事業概要】

- ◇ 日東精工技術スタッフに協力を仰ぎ、今期は北海道・広島で開催を計画
- ◇ 実技指導を行う際、プロジェクターや大型テレビモニター等を用意
- ◇ ジオカルテⅣの導入先も増えつつある中Ⅲ・Ⅳの二台体制を要請

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
会場予約(予定決め)		●→										
案内作成・配信			●→									
研修会実施			●	●								



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

4.地盤調査方法勉強会資料作成

【事業目的】

調査終了後の業務の流れを理解する事で、調査精度を高め、より幅広く知識を付け、後工程を意識した調査員の育成を目的とする。

【事業概要】

調査後の業務フローを明確にし、改良工事の設計基準を理解する事で支持層の確認方法・写真の撮影方法等、各社で問題となった事例を取り上げ理想の調査方法を検討し、繰り返し活用できる様、今期は3タイトル程度を映像としてHPにUPを計画。

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
資料作成		●→										
随時HPへ			●→									



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

5.地盤調査法体験学習会

【事業目的】

SWS試験の基礎知識教育と土質判別体験学習による調査員の育成を目的とする。

【事業概要】

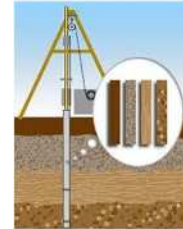
調査員の育成を目的(地盤知識の向上)

ボーリング・SWS(自動式)・SWS(手動式)の比較

土質試料による土質判別体験型学習(詳細は検討中)

会場：中部エリア1ヶ所

対象：エリア毎で体験調査員募集



なるほど！新発見！
現場で生きる知識習得

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
実施内容の検討		●	→									
現場選定			●	→								
実施								●	●			



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 委員会体制

地盤調査委員会

委員長 西 村 祥 久 株式会社 グルンドコンサルタント

副委員長 初 山 司 有限会社 ファンデックス

副委員長 久保田 宏 オムニ技研 株式会社

委員 秋 田 典 稔 ジオテック 株式会社

委員 近 藤 賢 司 愛知ベース工業 株式会社

委員 紋 阪 将 史 株式会社 新生工務

委員 幸 田 敏 朗 株式会社 ジーエーシーサポート

委員 関 谷 亮 三 ジャパンホームシールド 株式会社



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

補強工事委員会

2023年度 事業活動報告 2024年度 事業活動計画



補強工事委員会
委員長 青木 宏

2023年度 事業活動報告

2023年度事業活動は以下のとおりです。

 事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	実績	備考
①	審査省略制度（4号特例）の縮小に係るセミナー	法改正の内容と対応に関するセミナー	4月実施 受講者：26名（東京） 29名（大阪）	集合研修 （東京、大阪会場） 講師：菅谷弁護士
②	擁壁に関する地盤改良の設計と責任	擁壁下改良設計手法と擁壁底盤載せ施工による責任範囲に関する研修会	6月実施 受講者：144名	オンライン研修
③	安全・安心のための現場づくりの手引き	安全な現場作りのための資料作成	騒音・振動 土壌・地下水汚染 施工の準備	継続事業

2023年度 事業活動報告

1.「審査省略制度」(4号特例)の縮小に係るセミナー

【事業の目的】

2025年4月に施行される、いわゆる「4号特例」の縮小に向け、法律の内容、何が起るか、今のうちに何をしておくべきか、を確認・理解することで、法施行後のトラブル・クレームの未然の防止を図ることを目的とする。

【事業の実績】

《開催日時》 東京 2024年4月17日(水)
大阪 2024年4月24日(水)

《内 容》 1. 建築基準法改正の全体像
2. 構造審査・構造規定の改定
3. 法改正による影響(想定)

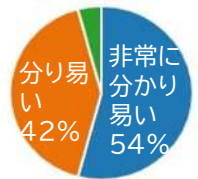
《講 師》 菅谷 朋子 様
(弁護士・一級建築士)

《出席者数》 26名(東京)、29名(大阪)



アンケート結果

非常に分かり易い: 54%
分かり易い : 44%
普通 : 4%
分かりにくい : 0%



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

2. 擁壁に関する地盤改良の設計と責任

【事業の目的】

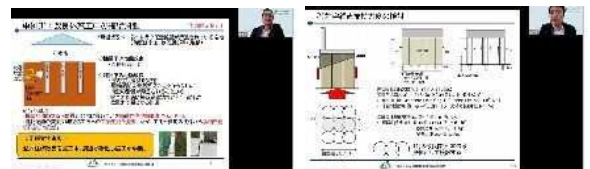
地盤補強工事においてトラブルの多い擁壁について、擁壁下改良工事設計の考え方、設計手法を把握するとともに、杭状地盤補強工法を擁底板に載せた場合に発生し得る事故・トラブルの責任範囲について必要な知識を習得することで技術・品質向上、現場トラブルの未然防止を図ることを目的とする。

【事業の実績】

《開催日》 2024年6月27日(木)
オンラインセミナー

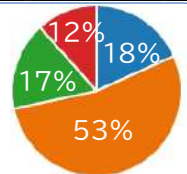
《内 容》 1. 擁壁に関するトラブル事例と責任
擁壁に関わるトラブル4事例(底板載、偏芯等)
に対して菅谷弁護士の法的見解を解説
2. 擁壁に関する地盤改良の設計
設計(考え方・計算方法)と設計例

《出席者》 144名



アンケート結果

非常に分かり易い: 18%
分かり易い : 53%
普通 : 17%
分かりにくい : 12%



設計従事者: 分かり易い、参考になった
初心者: 難しい、わかりにくい



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

3. 安全・安心のための現場づくりの手引き

【事業の目的】

現場を安全に進めるうえで大切な安全衛生における重要なポイント、注意点などを取り纏め、わかりやすく解説することで、事故・トラブルのない安全な現場づくりにつなげることを目的とする。

【事業の実績】

- ・『近隣や環境への配慮』について作成
《項目》 騒音、振動
土壌・地下水汚染(六価クロムについて)
施工の準備



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2024年度事業計画は以下のとおりです。

 事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	事業予算	備考
①	「審査省略制度」(4号特)の縮小に係るセミナー(2回目)	法改正の詳細な内容を解説	481,000円	継続事業 集合研修(東京) +オンライン(ハイブリッド) または動画のHP公開
②	【地盤技術品質研修会】安全・安心のための現場づくりの手引き	施工時に注意すべき安全項目の資料作成、研修会の実施	589,000円	継続事業 集合研修(東京) +オンライン(ハイブリッド) または動画のHP公開
③	地盤補強工事におけるトラブル・クレームの傾向と事例展開	事例資料作成、HPでの展開	240,000円	HPでの展開
④	沈下修正の流れ	沈下事故発生後から修復完了までのフロー資料作成	180,000円	HPでの公開
	委員会活動費	委員会、事業小委員会等	2,790,000円	委員会 12回/年開催
予算計			4,280,000円	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

1.「審査省略制度」(4号特例)の縮小に係るセミナー(2回目)

【事業の目的】

2025年4月に施行される、いわゆる「4号特例」の縮小に向け、法改正の詳細な内容、現状との違い、業務への影響、今のうちに何をしておくべきかを把握することで、法施行後のトラブル・クレームの未然防止を図ることを目的とする。

【事業の概要】

《内 容》 審査省略制度(4号特例)縮小に係るセミナー(2回目)

《講 師》 菅谷 朋子 様 (弁護士・一級建築士)

《開催時期》 2025年1月頃

《開催場所》 東京会場とオンラインのハイブリッドまたは録画の公開

【スケジュール】



内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
情報収集・資料作成				●	→	→	→					
セミナー						参加申込	●	→				



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2.【地盤技術品質研修会】安全・安心のための現場づくりの手引き

【事業の目的】

現場を安全に進めるうえで大切な安全衛生における重要なポイント、注意点などを取り纏め、わかりやすく解説することで、事故・トラブルのない安全な現場づくりにつなげることを目的とする。

【事業の概要】

《内 容》 安全衛生の観点等から解説する資料を作成(現場搬入、施工)

これまでに作成した資料を使い研修会を行う【地盤技術品質研修会】

《開催時期》 2025年2月頃

《開催場所》 (検討中)東京会場とオンラインのハイブリッドまたは録画の公開

【スケジュール】



内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
資料作成			●	→	→	→	→					
研修会							参加申込	●	→			



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

3. 地盤補強工事におけるトラブル・クレームの傾向と事例展開

【事業の目的】

過去のトラブル・クレームの傾向を取りまとめ、事例を展開することにより、会員各社におけるトラブル・クレーム防止策への取り組みに役立てて頂くこと、及び実務者の意識向上を目的とする。

【事業の概要】

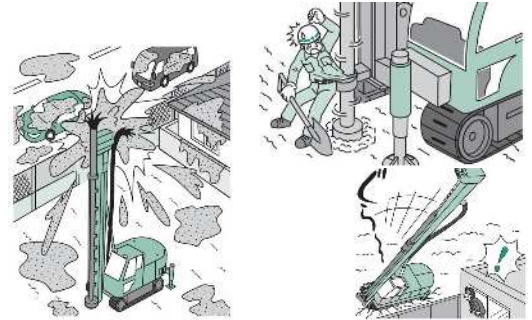
《内 容》 トラブル・クレームの傾向とりまとめ
事例資料作成

《公開方法》 全住品HPにて公開

《公開時期》 2024年12月頃

【スケジュール】

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
資料作成		●	→	●	→	●						
HP公開						●	→					



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

4. 沈下修正の流れ

【事業の目的】

不同沈下に加えて、地震動や液状化に伴う家屋の沈下に対して、沈下修正のニーズが高まっている。そこで、沈下発生から修正完了までの流れ、修正工法毎に特徴や注意点などを整理した資料を作成し、展開することで、会員の理解度向上を目的とする。

【事業の概要】

《内 容》 沈下修正の流れ、工法一覧の作成

《公開方法》 全住品HPにて公開

《公開時期》 2025年4月頃

【スケジュール】

内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
資料作成	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→		
HP公開	●	→	●	→	●	→	●	→	●	→		



鋼管圧入工法



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 委員会体制

補強工事委員会

委員長	青	木	宏	株式会社 アートフォースジャパン
副委員長	西	川	健 二	ジャパンホームシールド 株式会社
副委員長	遠	藤	智 之	ジオテック 株式会社
委員	清	水	秀 樹	雅重機 株式会社
委員	定	京	隆	株式会社 JFDエンジニアリング
委員	森	井	眞 治	株式会社 アートフォースジャパン
委員	金	原	瑞 男	株式会社 サムシング
委員	大	村	正 徳	UGRコーポレーション 株式会社
委員	達	城	史 明	株式会社 エム・ティー産業
委員	植	田	護 夫	ジャパンホームシールド 株式会社



一般社団法人 全国住宅技術品質協会



一般社団法人
全国住宅技術品質協会

建物検査委員会 2023年度事業報告 2024年度事業計画



建物検査委員会
委員長 小田島 直人

2023年度事業活動計画

2023年度事業活動は以下のとおりです。  印の事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	実績	備考
 1	建物検査技術品質研修会	検査技術者技術・品質 接遇向上研修	6月20～30日動画視聴期間 参加者:140名	動画配信による視聴
 2	建物検査マニュアル システム構築	システム利用料及び マニュアル監修・改訂	マニュアル不具合事例 及び 貫通部を中心とした外壁の防 水施工チェックポイント紹介	Teachme Biz
3	啓発活動	今期見送り 来期テーマアンケート実施	見送り	
4	建物検査技術者 マナー教育講習	会員向けマナー教育講習	システム移行準備 未開催	1回/年 eラーニング

2023年度 事業活動報告

1.建物検査技術品質研修会

【事業の目的】

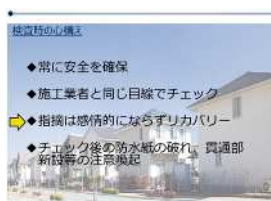
検査従事者に対し、各種関連法規、判断基準関係、建物検査ポイント、トラブル事例共有等により、現場技術・品質レベル向上を狙いとして研修会を実施することを目的とする。

【事業の実績 1/2】

《開催期間》 2024年6月20～30日 視聴期間

《開催方法》 動画配信[動画:20分(資料+ナレーション)]による視聴

〈理由〉
時間的制約がない。
気になった箇所を見返すことが可能



視聴後、
出席確認アンケート実施

視聴人数

140名



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

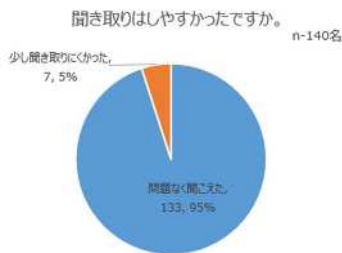
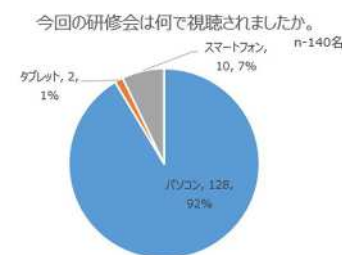
2023年度 事業活動報告

1.建物検査技術品質研修会

【事業の実績 2/2】

今回の研修内容についてお聞かせください。

今後の参考として「対面集合研修、オンライン研修、動画視聴研修」どれが参加しやすいですか。



- 98%の方に参考(まあまあ参考)になったを頂けているので成果があった。
- 「参考になった」方の代表的な意見
- ・ 具体的な不具合写真が多く、参考になりました。
 - ・ 防水施工部位の再確認が出来た。
- 「参考にならなかった(3名)」方の意見
- ・ 新築防水検査をしていない。
 - ・ 特に目新しい事が無かった。

●今回初の「動画視聴研修」が約8割
また2番目「オンライン研修(17%)」と
集合しない研修が95%と大半を占めた。

委員会内でも検討時間を費やしたが、
時間拘束の無い「動画視聴」が検査実施されている
会員への評価は高い結果となる。



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2023年度 事業活動報告

2.建物検査マニュアルシステム構築

【事業の目的】

検査従事者に対し、検査判断基準や基本マニュアル、トラブル・事故事例共有等、現場で活用できるクラウドサービスを活用し、建物検査レベルの向上を図ることを目的とする。

【事業の実績】

クラウドサービス=Teachme Biz
(ティーチミー ビズ)

コンテンツ作成

- 既存状況調査の不具合事例集の定期配信
- 新築住宅検査の貫通部を中心とした外壁の防水施工チェックポイントを紹介

◆既存状況調査

Teachme Biz
2023年度掲載
・5コンテンツ追加



コンテンツ名	更新日時	更新内容
既存状況調査の不具合事例集	2023/09/11 17:17	既存状況調査の不具合事例集の更新
新築住宅検査の貫通部を中心とした外壁の防水施工チェックポイント	2023/09/11 17:17	新築住宅検査の貫通部を中心とした外壁の防水施工チェックポイントの更新
建物検査マニュアルシステム構築	2023/09/11 17:17	建物検査マニュアルシステム構築の更新
建物検査技術者マナー教育講習	2023/09/11 17:17	建物検査技術者マナー教育講習の更新
委員会活動費	2023/09/11 17:17	委員会活動費の更新

◆新築住宅 (品質検査)

Teachme Biz
への掲載
・貫通部を中心とした外壁の
防水施工チェックポイントを紹介



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度事業計画

2024年度事業計画は以下のとおりです。

○ 事業について報告致します。

	活動テーマ	内容	事業予算	備考
①	建物検査技術品質研修会	検査技術者技術・品質接遇向上の研修	1,318,000円	動画作成によるWeb視聴受講
②	建物検査マニュアルシステム構築	システム利用料及びマニュアル監修・改訂	750,000円	ティーチミービズによる配信
③	建物検査技術者マナー教育講習	会員向けマナー教育講習	480,000円	eラーニングによる受講
	委員会活動費	委員会、事業小委員会 等	514,000円	委員会 8回/年開催を計画
計			3,062,000円	



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

1.建物検査技術品質研修会

【事業の目的】

検査従事者に対し、各種関連法規、判断基準関係、建物検査ポイント、トラブル事例の共有等により、現場技術・品質レベル向上を狙いとして研修会を実施することを目的とする。

【事業の概要】

《開催時期》 2025年4月～5月予定

《開催方法》 動画配信視聴 [動画:30～45分(資料+ナレーション)]

《外部講師》 今後検討

《講習内容》 今後検討

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
開催準備		●										
研修会開催										●		



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

2.建物検査マニュアルシステム構築

【事業の目的】

検査従事者に対し、検査判断基準や基本マニュアル、トラブル・事故事例共有等、現場で活用できるクラウドサービスを活用し、建物検査レベルの向上を図ることを目的とする。

【事業の概要】

●コンテンツ配信

・不具合事例集:内容検討

・新築住宅検査基準等:内容検討

【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
コンテンツ作成・公開	●											



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 事業活動計画

3.建物検査技術者マナー教育講習

【事業の目的】

検査を受ける消費者(売主・買主)及びご依頼事業者様が、一般的に考える安心・信頼につながられる様、建築技術や一般的マナー等を兼ね備えた検査員であることを可視化し、会員のモチベーション向上につなげることを目的とする。

【事業の概要】

●未受講者及び新規会員向け講習実施

《開催時期》 2024年10月～5月

《開催方法》 eラーニング



【スケジュール】

活動内容	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
システム構築	→											
未受講者・ 新規会員向け講習				→						→		



一般社団法人 全国住宅技術品質協会

2024年度 委員会体制

建物検査委員会

委員長	小田島 直 人	ファーストインスペクションサービス株式会社
委員	松 田 隆 模	検NET株式会社
委員	渚 上 武 紘	株式会社日本住宅品質検査
委員	山 本 直 樹	N's Inspection一級建築士事務所
委員	田 生 裕 典	ジャパンホームシールド株式会社
委員	武 田 泰 光	ファーストインスペクションサービス株式会社
委員	柳 本 拓 三	ジャパンホームシールド株式会社



一般社団法人 全国住宅技術品質協会